

おおた文化の森

大田文化の森運営協議会情報誌
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

2015 Vol.56 夏



P1. 表紙

P2. 2015文化の森夏祭り

P3. 2015運営協議会総会報告 ～28年度新体制について～ 運協だより

P4.～5. 文化の森イベント案内

P6.キラリ☆大田の顔

残していきたい日本の心に宿る伝統工芸品

P7. コラム「つれづれに」

ある地史 ～戦後の思い出～

P8. 文化の森カタログ

編集後記・編集スタッフ紹介

2015年
7月31日(金)
8月1日(土)

広げよう地域の輪

大田文化の森夏祭り

『大田文化の森』において、新井宿自治会連合会と文化の森運営協議会の共催事業として「2015年大田文化の森夏祭り」を開催いたします。

夏祭りの準備は、例年より早く進めています。

新井宿自治会連合会の企画は、7月31日のみの「歌声サロン」と7月31日・8月1日の両日開催する「盆踊り」と「夜店」の催し物で、地域のみなさまをお待ちしています。

運営協議会では、7月31日(金)ホールにて地域の子供達による音楽イベントを開催し、8月1日(土)は、大人達による音楽イベントを開催します。

目玉企画としては、8月1日(土)の午後より「こどもカラオケ大会」を催します。

また、8月1日の大人達による音楽イベントで、大田区職員有志による同好会「くすのき連」の阿波踊りを企画しています。その他、1階展示コーナーでは、地元中学の作品展示を行ないます。

昼どき大いに賑わう3階には、今年もお食事処・お休み処を配して夏祭りにお越しのみなさんに食と癒しを提供しています。昨年大好評でしたハヤシライス、冷し中華等の販売も



しますのでお楽しみにしてください。

子どもたちでいっぱいになる4階では、ワークショップ(お菓子作り等)や屋台(かき氷等)を色々揃えてお待ちしております。毎年好評のスタンプラリーや、浴衣の着付けを無料で実施しています。浴衣に着替えて、盆踊り大会に参加してはいかがでしょうか。

詳しい情報は、夏祭りの広報チラシや区設掲示板への告知ポスター等をご覧ください。

夏祭り実行委員長 相馬 和三



写真は全て
昨年度の
夏祭りの様子

2015大田文化の森秋祭り(旧収穫祭) 開催月変更のお知らせ

10月4日(日) 10時~16時(開催日時)

例年、11月に実施していました秋祭り(旧収穫祭)の開催日時を1ヶ月程度早め、10月開催になりました事をお知らせします。秋祭りにエントリーされる方、ボランティアとして参加される方はご留意ください。

詳細については、大田文化の森運営協議会 2015 秋祭り実行委員会を通じて、広報チラシ等で告知いたします。

2015 秋祭り実行委員会



2015 運営協議会総会報告

～28年度新体制について～

今年の大田文化の森運営協議会総会は、昨年の「文化プレーヤー総会」から名称を変更し、文化プレーヤー 86 名を含む総勢 102 名が参加し、5月16日(土) (13:00～17:30)に開催されました。

冒頭二人の高校生プレーヤーによる爽やかな開会宣言でスタートし、各実行委員会・事業部会の報告と展望に続き、新体制について後藤会長、佐藤前事務局局長より「運営委員の役割を明確にし、コーディネーターを新設」「プレーヤー主体の組織改正が今回のコンセプトで、文化プレーヤーから、文化ボランティアへ名称を変更」「区、文化振興協会、運営協議会が三位一体となり、区民の活動がより一層活発に出来るように」と、チームづくりの参考となる貴重な提案がありました。

『新体制と新チームについて』のテーマで、約1時間の活発なグループ討議が行われました。その後、各代表者により、運営委員・コーディネーター（新設）への期待や注文などと共に、「新体制を承認し、チームを新編成、区民への働きかけを進め、より良い文化の森の活動をしよう」等、前向きの意義ある発表が多く出ました。

来賓として列席を賜った大田区観光・国際都市部田中部長より「観光資源として、『文化の森』を育てていきたい」、大田文化の森渡邊館長より「地域の文化活動には、運営協議会がどう関わっていくかが重要だと考える」等、講評を頂きました。

その後、1時間ほど交流会があり、出席者間の交流を深め、盛会裏に今年の総会は散会となりました。

運営委員 内田 荘太郎



大田区ゆかりの文化人名を置いたテーブルでの今年の総会の模様



※似顔絵の作成は、文化プレーヤーの方にお願ひしました。

運協だより

この4月から「大田文化の森」館長となりました渡邊でございます。

昨年度は、文化の森運営協議会の運営委員や文化プレーヤーの忙しい中での、日々の取り組む姿がありました。そのおかげもあり、文化の森の賑わいが作り出されることを感じた1年でした。

大田文化の森を預かる公益財団法人大田区文化振興協会としましても、これまで以上に、地域の文化活動が推進され、事業展開に積極的に取り組むことができますよう、できる限り努めてまいります。

また、施設管理者として、もっと使いやすく、利用していただけるような施設運営にも心がけてまいりたいと存じます。

どうぞ様々な活動にご利用いただきたくお願い申し上げます。

大田文化の森館長 渡邊 愛子



文化の森 イベント案内

全館イベント

2015年 大田文化の森 夏祭り

今年もやります！お年寄りも、お父さん、お母さん、ちびっ子もみんなが楽しめる企画満載。子どもや大人のホール企画、子どもカラオケ、ワークショップ、模擬店、盆踊りなどを予定しています。

□開催日時：7月31日(金) 正午～・8月1日(土) 10:00～
□会場：大田文化の森全館

ホール&多目的室

子どもカラオケ大会出場者募集

夏祭りを子どもたちのカラオケで盛り上げましょう！

□開催日時：8月1日(土) 14:00～16:00
□会場：5階 多目的室
□対象：3才～中学生(個人でもグループでも可)
□参加費：無料
□定員：抽選で20名(組)
□締切：7月15日(水) 必着(曲名を1曲記入すること)

大田郷土の歴史と文化を語る集い シリーズIV

池上とその周辺の地史、遺跡、文化などについて、有識者やその土地の長老の方々から話を聞く。

□開催日時：9月6日(日) 13:30～16:00 開場 12:30
□会場：5階 多目的室
□対象：中学生以上(未就学児の同伴不可)
□参加費：200円
□定員：抽選で150名
□締切：8月25日(火) 必着

文化の森シネマ館

7月中旬に詳細決定！お楽しみに♪

□開催日時：10月18日(日)
□会場：大田文化の森ホール
□参加費：無料
□定員：抽選で180名
□締切：10月2日(金) 必着(はがき1枚に2名までの記名可)

ピアノで奏でるヨーロッパの香り

ヨーロッパでの経験やエピソードを盛り込みながら、親しみやすい作品の数々をお楽しみください。

□開催日時：11月21日(土) 14:00～16:00 開場 13:30
□会場：大田文化の森ホール
□対象：小学生以上(未就学児の同伴不可)
□チケット代：全席自由 1000円(大田文化の森1階フロント・アブリコ・区民プラザで9月18日(金)発売開始)
□定員：220名

問合せ先

●大田文化の森 運営協議会
〒143-0024 中央2-10-1 (4階)
電話 ▶ 3772-0770
FAX ▶ 3772-0704
ホームページ▼
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

夏休み企画！

簡単アロマソープづくり

アロマオイルを使って、肌にも環境にも優しい手作り石鹸を作ってみよう！

□開催日時：7月25日(土) 13:30～15:30
□会場：3階 調理室 □対象：小学生～中学生
□参加費：500円(材料費込) □定員：抽選で20名
□締切：7月15日(水) 必着 (HPでの申込可)

★カラフルサマーリースを作ろう★ 自由研究レシピ付

貝がらやサンゴ、ヒトデ、造花で夏らしいリースを作りましょう！作り方をまとめたワークシートもプレゼントします。

□開催日時：8月4日(火) 13:30～15:30
□会場：3階 工芸室
□対象：5才(年長)～高校生
□参加費：800円(材料費込)
□定員：抽選で25名
□締切：7月21日(火) 必着 (HPでの申込可)

フラワービーチサンダルをつくろう！

ビーチサンダルを造花やビーズなどで愉しくリメイク。オリジナルフラワーサンダルでおしゃれにお出かけしよう。

□開催日時：8月9日(日) 13:30～16:30
□会場：3階 和室
□対象：小学1年生～高校生
□参加費：800円(材料費込)
□定員：抽選で25名
□締切：7月26日(日) 必着 (HPでの申込可)

夏休み図工教室 「紙粘土で海のいきものをつくろう」(2回制)

紙粘土で海の生物をつかって絵具で色をつけ、海の世界を作ろう。

□開催日時：8月22日(土)・30日(日) 14:00～16:00
□会場：3階 工芸室 □対象：小学生
□参加費：800円(材料費込) □定員：抽選で25名
□締切：7月31日(木) 必着

なりたい自分になる！親子未来図ワークショップ

雑誌の切り抜き等で未来像を表現し親子で語り合う。

キャリア教育、夏休みの自由研究にも。
□開催日時：8月29日(土) 13:30～16:00
□会場：3階 工芸室
□対象：小学1～4年生のお子様と保護者
□参加費：1000円/組(追加はお一人500円)
□定員：抽選で12組
□締切：8月7日(金) 必着(はがき1枚に全員の氏名・年齢)
□保育：あり(6ヶ月以上の未就学児 一人1回500円)

申し込み方法

- 申込：往復はがき。催し名、住所、氏名、年齢、電話番号、区報で見た旨を明記。1枚1講座。
- 保育付講座で保育希望の場合、「保育希望」とお子さんの氏名・年（月）齢も明記。
- ホームページからのお申込みの場合、@ota-bunkanomori.jpからのメールが確実に受信できるよう、メール受信の各種設定を応募前に必ずご確認ください。
- お申込みが一定数に達しないときは、講座を中止または延期する場合があります。
- 費用は初回に全納です。

体験してみよう！

お手玉で脳活と地域活動の基本を 学びましょう!! (4回制)

お手玉づくりから級位認定まで挑戦。またお手玉を通しての地域活動の現況を学ぶ。

- 開催日時：7月30日(木)・8月4日(火)・11日(火)・23日(日)
13:30～16:00
- 会場：4階 第3・4集会室 □対象：どなたでも
- 参加費：1000円(材料費込) □定員：抽選で50名
- 締切：7月17日(金) 必着

ウガンダ・中華・ポルトガル料理講習会 (3回制)

身近な食材を使って、簡単に作れる世界の料理を体験しましょう！

- 開催日時：9月13日・10月25日・11月8日(各日曜)
10:00～14:00
- 会場：3階 調理室 □対象：18歳以上
- 参加費：3000円(材料費込) □定員：抽選で30名
- 締切：8月28日(金) 必着

シニアヨガ～50歳以上の方のためのやさしいヨガ～ (3回制)

腰痛や膝の痛みなどの不調があっても、イスを使って無理なくできるやさしいヨガを体験してみましょう。

- 開催日時：9月4日・18日・10月2日(各金曜)
10:00～11:30
- 会場：1階 第1スポーツスタジオ
- 対象：概ね50歳以上 □参加費：1500円
- 定員：抽選で20名 □締切：8月12日(水) 必着

骨盤・股関節 らくらく健康体操 (5回制)

楽に動ける姿勢を覚え、リズムに合わせて体を動かしましょう。

- 開催日時：9月15日・29日・10月13日・27日・11月10日
(各火曜) 14:00～15:30
- 会場：1階 第1スポーツスタジオ
- 対象：どなたでも □参加費：2500円
- 定員：抽選で20名 □締切：9月1日(火) 必着

「こどもこそミライ」上映会

子どもの保育をテーマに、泣いて笑ってちょっぴり切ない感動のドキュメンタリー映画。鑑賞後は“人を育てる”こと、大人のできることを参加者全員で考えましょう。

- 開催日時：9月26日(土) 13:30～16:00
- 会場：4階 第3・4集会室
- 対象：どなたでも
- 参加費：中学生以上500円(小学生以下無料)
- 定員：抽選で60名
- 締切：9月12日(土) 必着 (HPでの申込可)

プロが教える写真教室 ★子供を可愛く撮る3つのポイント★

プロカメラマンから教わるいくつかのポイントを覚えて、もっと可愛く写真を撮ってみましょう！

- 開催日時：9月6日(日) 14:00～15:30
- 会場：4階 第2集会室
- 対象：3才～小学3年生の親子(未就学児の同伴可)
- 参加費：300円(カメラを持参)
- 定員：抽選で15組
- 締切：8月23日(日) 必着 (HPでの申込可)

暮らしの経済セミナー ～税金・年金・経済・お金の理解 (4回制)～

暮らしを豊かに、力強く生きるための知識と判断力を身につけよう。

- 開催日時：9月12日(土)・20日(日)
両日とも10:00～11:30と13:00～14:30
- 会場：4階 第3・4集会室
- 対象：どなたでも
- 参加費：800円
- 定員：抽選で50名
- 締切：8月27日(木) 必着



第2弾 父と息子の料理教室

お父さんと息子がポルトガル料理にチャレンジしよう！

- 開催日時：10月10日(土) 9:30～14:00
- 会場：3階 調理室
- 対象：小学1年～中学3年の男子と父親
- 参加費：1000円/組(材料費込)
- 定員：抽選で15組
- 締切：9月26日(土) 必着

数独を楽しもう! (2回制)

子どもの論理力醸成から認知症予防まで。数字で遊ぶ楽しさを体感しましょう！

- 開催日時：10月18日・11月15日(各日曜)
13:30～16:00
- 会場：4階 第2集会室
- 対象：小学4年生以上
- 参加費：1200円(2回分のオリジナルテキスト代込み)
- 定員：抽選で30名
- 締切：10月2日(金) 必着

キラリ 大田の顔

残していきたい 日本の心に宿る伝統工芸品

区内を散歩していて普段見慣れた伝統的な工芸品がいつのまにか無くなったなあ~と思った事はありませんか？
桶屋さんや表具屋さんがそこと、ここに在ったのに…。
あそこには建具屋さんが、曲がり角には確か畳屋さんが、
などなど…………。

利便性や機能性が重視され冠婚葬祭、進物儀礼などの習慣の変化、海外からの安い輸入品の増加、大量生産・大量消費の時代背景からなのですが「このままだと日本の伝統工芸品とともに“わざ”の技術伝承が確実に無くなる」と感じます。

経済発展が重要視されるなか、日本独特な文化である伝統工芸品は世の中の動きに追従できず、取り残されています。通産省（現経産省）のデータによると、生産額は昭和50（1975）年代のピーク時に比べ、現在は約4分の1に減少、現実的にはさらに減少しております。

革新的なアイデアで独創的な製品作り、消費者のニーズにマッチした柔軟性や魅力ある未来志向をふまえた、新たなモノ作りを視野に入れ挑戦する事が必要です。また、独自のイベント開催など、新規開拓や行動とともに個々の職人さん達がリーダーとなり、距離感を縮めた対応を進めて行く事が重要で、ことに若い方々に少しずつ理解、賛同できれば道が開けていけるのではないかと考えます。

品物を大切に扱う精神や、きめ細やかな思いやりの心から創作される伝統的工芸品は、素材の長所を最大限に引き出し、手や足や身体で感覚で技を磨き上げた修練の結果、極めて完成度の高いものの中から育まれ、逸品として世に出回ります。

創作活動を、やめることは簡単ですが、継続・継承・伝承する事は時間がかかり簡単でない現実が有ります。2020年「東京オリンピック」には諸外国から大勢のお客様がお越しになります。伝統工芸の手仕事の素晴らしさを感じ日本文化や日本国を知って頂く事が出来るチャンスだと思います。また、多くの方々に伝統工芸品を再認識して頂き、会員やサポーターに多く参加し、賛同・応援して頂ける事を願っております。

大田区伝統工芸発展の会 事務局長 吉澤 均
江戸和竿協同組合会員「竿好」さおよし



スイカが彫刻刀
1本で美しいフ
ルーツカービング

氷柱に立体的な花を咲か
せるアイスカービング



つれづれに

ある地史 ～戦後の思い出～ 灘 英介

「空蟬に過ぐる日偲ぶ八十路かな」。あれから七十年も経つのか、その昔を語る友も少なくなった。

私の手記に『蟬時雨の余情に昔の思いが彷彿と浮かんでくる。駒沢練兵場の木陰の一隅に置かれたラジオが「時運のおもむくところ、堪えがたきを堪え、忍びがたきを忍び……」と告げた。

茫然と立ち尽くす私たちの前を蟬の啼声に促されるように、肩を落とし立ち去る兵士の姿があった。真夏の陽射しの強い暑い一日だった。この年の出来事を忘れ去ることはできない。』と書かれていた。

戦乱による罹災・焼失・崩壊・焦土・廃墟、それに窮乏と飢餓、街々に惨い哀れな荒涼とした情景が広がり、私たちの故里に遺されていた田園風景をも失った。

閑居して地史を綴った古書を繙く。昭和二年の入新井町誌の序文（一部抜粋・意訳）に『明治の初めは入新井斗の方は多少町かかったかも知れぬが、新井宿の方は純然たる農村で山王台は狐狸の棲む山村であつたらしい。しかるに鉄道のかかる時、元の大森宿で盛んに停車場を排斥したために、政府はよんどころなく品川から川崎へ一直線に出づべき鉄道を、くの字に曲げて新井宿という寒村に停車場を設けた。おかげで今では新井宿から入新井斗は大森繁華の中心となり、元の大森はほとんど世人から忘れられたようだ。わずか四五十年間の変化か否、僕の体験二三十年間にこの地は全然変わってしまった。』

今から五十年か百年が経ったら恐らく想像もつかぬように変化するだろう。……』と述されている。

村から町へ、町から街へと地史は綴られてゆく。私たちの街は不死鳥のように甦った、昭和二十年の敗戦を契機に復興へと向かい、人々は新生の夢と望みを抱いて、生きるためひたむきに努め、また働いた。

「大田文化の森」の北東に展がる山王台地を新井宿の木原山と称した。その山裾の一条の道筋を地史は「古への東海道」と載せている。私たちはこの路を池上通り・区役所通り・バス通り・後には柳本通りなどと呼んでいた。この路の大森駅近くの八景坂下から大森郵便局までの線路際ほぼ一軒に亘り、戦時中防災のための強制疎開により建物が撤去された跡地に、一間幅の歩道の半分を占拠して、蜿蜒とその数四百程の露店商が戸板や莫座を敷いて品々を並べ商いを始めた。私たちは、この市場を闇市と云ったが、東京で一番長い「大森マーケット」と報道で紹介された。

草臥れた軍服を纏った復員兵の姿、何処から仕入れてくるのか購いたくなる沢山の品々、硬貨に代わる小額紙幣が紙片のように交わされる。活気が戻ってきた、人々は乏しい暮らしの環境のなかで生活の糧を得るために、その威勢に牽かれて市へ足を運んだ。その賑わいに「まちづくり」が進んだ。今この地の街並みの店構えに、往時を偲ぶ面影を彷彿させる景観は窺えない。



木原山狐碑



現在の池上通り（旧大森マーケット辺り）

コラム『つれづれに』投稿記事募集

※投稿される方は、「つれづれに」係と明記して、末頁の運営協議会事務局住所宛に郵送をお願い致します。

※投稿記事が採用された場合は、連絡させていただきますので、連絡先の明記をお願いします。（応募記事多数の場合は、編集会議で採用記事を決定させていただきますので、ご理解とご了解をお願いします。）

※投稿記事を応募された皆様の個人情報、情報誌の掲載記事以外で使用しないことを約束いたします。（情報誌 HP 版含む）

大田文化の森 カタログ

文化の森ってどんなところ？何をやっているの？

Q1 文化の森ってどんなところ？何をやっているの？

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。

その目的は、「区民の自主的な文化活動の拠点として、区民が集い、参加して、交流することを目的として旧大田区役所跡地に建設された施設」です。

大田文化の森は、区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営は、「公益財団法人大田区文化振興協会」があたり、利用しやすく、より親しみやすい施設を目指しています。

Q2 運営・管理はどうしているのかな？

●施設管理は「(公財)大田区文化振興協会」が行っています。集会棟1階に事務室と受付窓口があります。

詳しくは、利用案内・HP(ホームページ)をご覧ください。

●事業運営は、「大田文化の森」の貸館業務と「大田文化の森」企画の一部を「大田文化の森運営協議会」が行っています。運営協議会は、集会棟4階に事務局を設けています。



OK

Q3 どんな施設なの？

ホール(定員259名)、集会棟(5階建て)、広場(185㎡)で構成され、地下には有料駐車場(30台)があります。

集会棟1階には、展示コーナー・スポーツスタジオ・音楽室があります。

2階には情報館(図書コーナー・マルチメディアコーナー)、3階には集会室・和室・美術室・工芸室・調理室があります。4階には集会室・運営協議会事務室、5階には多目的室があります。



Q4 どんな利用ができるの？

●貸館利用する場合

大田文化の森1階受付で直接申し込む(うぐいすネットへの登録必要)

大田区HPから、「うぐいすネット」(パソコンを活用した登録制の申込システム)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設から申し込む。

問い合わせ▶受付窓口(集会棟1階) 9:00~19:00 電話▶03-3772-0700
(公財)大田区文化振興協会 HP: <http://www.ota-bunka.or.jp/>

●企画をしてみたい! ボランティアをしたい!

(主に文化活動・企画運営のお手伝い)

活動(企画)するには、文化プレーヤーに登録する必要があります。直接お越しいただいて登録するか、運営協議会HPから登録することもできます。

問い合わせ▶運営協議会事務局(集会棟4階) 9:00~17:00
電話▶03-3772-0770
大田文化の森運営協議会 HP: <http://www.ota-bunkanomori.jp>



ちょっとここで
コーヒーブレイク

ティーラウンジ すばる

広場をはさんでホールの反対側に、まるくのぞいたガラス張りの喫茶店。それが、ティーラウンジ「すばる」です。

知的障害の就労支援の場として、大田区知的障害者育成会が経営させていただいています。

営業時間▶10:00~17:30 TEL▶03-3772-4050

定休日▶隔週月曜日・全館休館日



大田文化の森 アクセス情報

地図製作: NPO法人クリエイター支援機構



編集後記

みなさん4年前の感動を覚えていますか!? なでしこジャパン(女子サッカーワールドカップ日本代表)が、世界一!!になったことを。あの感動が、帰ってきました。

2連覇するのは並大抵のことではないかもしれませんが、大いに期待しながら向暑の候を過ごしています。どうして!? なでしこジャパンなのかと言えば、「2012冬号 vol.42号」で特集記事を掲載したからです。そんな私自身の4年前と言えば、情報誌の編集スタッフに本格的に参画した頃で、不慣れなことが多々あった思いを巡らしております。

さて、「情報誌56号夏号」を無事発行することができました。今回は、現行の情報誌のあるべき姿を目指し、大幅なりニューアルをして、刊行しました。読者の皆さんに楽しんでいただける、親しみやすさと分かりやすさに留意しながら、紙面作りを行いました。暑い夏を乗り切るイベント情報も満載!! になりました。戦後70周年の年を思ふコラムは必読のコラムとなっています。

さらなるリニューアルで磨きかけた「情報誌」を今後ともよろしく願っています。

編集長 池田 昭宣

編集スタッフ紹介

池田 昭宣 小川 洋夫 國廣 孝栄
北村 弥生 福野 幸雄 松浦 克巳
奥田 和子 今成 修/表紙イラスト
湯浅 真輝/イラスト

おおた文化の森 Vol.56 夏

2015年7月1日 発行

レイアウト・デザイン: 株式会社ウイル

印刷: 株式会社気生堂印刷所

編集人: 池田 昭宣

発行: 大田文化の森運営協議会

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704